

令和 3 年度第 2 回南外地域協議会会議録

令和 3 年 7 月 2 9 日

南外地域協議会

令和3年度第2回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■議事録署名委員の指名	2
■協議	2
1) 令和3年度地域枠予算対象事業の報告について	2
①【新規】もっと出番を！「南ちゃん」利活用促進事業	2
②【継続】国道105号線コスモス植栽事業	3
③【継続】環境整備活動事業	3
④【継続】檜岡城を守る会活動費補助事業	3
2) 地域づくりに関する意見交換について	5
3) その他	12
■閉会	12
■署名	13

令和3年度 第2回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和3年7月29日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員：12名

伊 藤 君 夫、伊 藤 直 人、伊 藤 伝 悦、風 口 宏 子
木 村 ふみ子、今 野 徹、佐 々 木 久、佐 藤 喜八郎
佐 藤 正 行、相 馬 静 華、高 橋 恵 子、高 見 正 志

■欠席委員：4名

伊 藤 成 幸、伊 藤 まゆみ、佐 藤 和 香、八 嶋 康 晴

■出席職員：6名

○南外支所職員

佐藤 勇孝（支所長）	佐々木 満智子（市民サービス課長）
佐藤 和好（農林建設課長）	佐藤 マキ（公民館長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）	佐々木 心都（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - 1) 令和3年度地域予算対象事業の報告について
 - ①【新規】もっと出番を！「南ちゃん」利活用促進事業
 - ②【継続】国道105号線コスモス植栽事業
 - ③【継続】環境整備活動事業
 - ④【継続】檜岡城を守る会活動費補助事業
 - 2) 地域づくりに関する意見交換について
 - 3) その他
- 4 閉会
- 5 署名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆様、本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和3年度第2回南外地域協議会を開会いたします。はじめに、伊藤会長よりご挨拶をお願いいたします。

○伊藤直人会長（以下「会長」と表記）

どうも皆様こんばんは。夏の大変暑い時期となってきました、昨日の台風の心配もしておりましたが思っていたよりも被害等がなさそうで良かったです。本日はいつものように地域枠予算の対象事業の報告につきまして4件ほどあるようです。次に地域づくりに関する意見交換を予定しております。最後はその他となっております。どうかよろしくご協議をお願いいたします。簡単ではありますが冒頭の挨拶とさせていただきます。

○地域活性化推進室主幹

それでは議事に入らせていただきます。本日の出席委員数は風口さんがこの後出席いたしますが、現時点で12名となり、過半数に達しておりますので本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして3件であります。また、会議録作成のため録音させていただくことをあらかじめお断り申し上げます。なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。今回に関しましては、会場の都合上マイクが使用できませんので、発言の際はできるだけ大きめの声でお願いいたします。

それでは議事の進行は伊藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは協議会を始めます。議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。伊藤君夫委員と今野徹委員にお願いいたします。

それでは議事を進めてまいります。議題1「令和3年度地域枠予算対象事業の報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

○佐々木地域活性化推進室主事（以下「地域活性化推進室主事」と表記）

・もっと出番を！「南ちゃん」利活用促進事業【実施類型：行政主導型】

■事業の目的：南外地域のマスコットキャラクター「南ちゃん」のイラストについて、現在1ポーズ分のイラストしかないことから、イラストデータを再構築するとともにポーズの種類を追加することで利便性を高め、各種広報活動等での活用の幅を広げる。これにより、この南外地域独自のキャラクターの露出機会を増やし、南外地域の知名度向上と地域住民の一体感の醸成につなげる。

■予算額：82,500円（委託料）

・国道105号線コスモス植栽事業【実施類型：市民協働型】

■事業の目的：南外地域への玄関ともいえる大向・金屋地区国道105号線沿いに花を植栽して、美しい田舎の風景を創造し、その活動をアピールすることで環境美化の意識向上を図るとともに、周辺住民の共同参画を通じてふれあいの場をつくる。

■予算額：185,000円（原材料費・消耗品費）

・環境整備活動事業【実施類型：市民協働型】

■事業の目的：南外地域の各自治会が自然を大切にするために自治会会員の協働作業で環境保全活動を行うことで、会員同士が絆をより一層深めながら自然環境の美化と自治会活動の活発化に取り組むことを目的とする。

■予算額：1,148,000円（保険料・借上げ料）

・橿岡城を守る会活動費補助事業【実施類型：市民主導型】

■事業の目的：地域の歴史遺産「橿岡城址」を保存し、当地で繰り広げられた戦国の歴史を後世に伝承するため、生涯学習を活用しながら地域内外に対して同史跡の価値と魅力をアピールするとともに、歴史的空間を活用して地域間及び世代間の交流促進を目的とする。

■予算額：51,000円（補助金）

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

○佐藤喜八郎委員

「南ちゃん」の性別を教えてください。

○佐藤公民館長（以下「公民館長」と表記）

作者の意図としては男性・女性というのは区別していないようです。受け手がどのように捉えるか、ということではないかと公民館では考えております。

○佐々木久委員

環境整備活動事業の河川清掃について、どの場所を清掃するのかと環境美化の内容について教えてください。

○会長

南外は42自治会ありますが、毎年各自治会で道路清掃や河川清掃をしており、特定の団体が掃除したり補助したりするわけではありませんのでどこの場所というのは一概には言えないかと思います。

○佐々木久委員

場所というのはそういうことではなくて、河川清掃事業の場所はどこなのかということと、もう一点は環境美化の内容について教えていただきたいです。河川清掃は、南外の各河川を清掃するということで継続事業で行って来ていると思います。私の住んでいる地域でも申し込んでいると思いますが、現在の進捗状況と今後の流れについて知りたいです。

○地域活性化推進室主幹

お調べして次回の地域協議会でお話ししたいと思います。

○伊藤君夫委員

今、佐々木さんがおっしゃったのは河川環境を守る会というのがあって支障木を伐採するという継続事業のことかと思います。私たちの地域では先週河川の草刈りやゴミ拾いを実施したのですがこれとはまた違う事業になるのかと思います。また、浚渫や支障木の伐採はまだ実施していません。

○地域活性化推進室主幹

おそらく河川環境を守る会で実施してもらっている河川支障木伐採事業のことかと思いますが、そちらに関しましては今年も実施する予定ですが、現時点ではまだ申請はきておらず実施時期も未定です。昨年度は3月に実施しております。

○佐藤喜八郎委員

橿岡城を守る会のことですが、良い場所なので活動していただけるのはうれしいです。主催事業の中で、ボランティア活動と情報発信というのがあり、我々もできれば活動していきたいと思っているところですが、活動の内容をもう少し具体的に教えていただけますか。

○地域活性化推進室主幹

情報発信に関しては、橿岡城を守る会で独自に作成したリーフレットがあるのですがそういったものを、大仙市内の道の駅をお願いして利用者の人から持って行ってもらえるよう置いてもらっています。これ以外にもあるかもしれませんが、主な活動の内容の1つになるかと思います。ボランティアに関しましては、コロナの関係もあり実施できるかわかりませんが、想定しているのは橿岡城址を観光したいというグループなどがあった場合に

案内人として会員の人がついて、櫛岡城址の歴史を説明するというボランティア活動です。
ですが、実績はまだありません。

○会長

他にご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。
(意見・質問なし)

○会長

無いようですので、次の議題に入らせていただきます。次に2) 地域づくりに関する意見交換について事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

それでは議題2の「地域づくり」に関する意見交換に入りたいと思います。事前配布いたしました、会議資料の中にある地域づくりに関する意見交換という資料と先に開催しました「南外地域のミライワークショップ」の事業報告書を基に進めます。

なお、この意見交換はこの話し合いだけで全てを結論づけるものではありません。今後も協議会の中でその都度話題を設定しながら委員の皆さんのざっくばらんなご意見をお伺いし、支所の地域づくりにかかる業務に反映させたいと考えておりますのでよろしくお願いします。では、お手元の資料をご覧ください。

【資料説明】

■意見交換の目的① ～ワークショップの結果を生かす～

- ルーツ探訪（南外地域有縁者のルーツ探しの旅行をサポート）
- はなし塾（経験豊富な高齢者が若者の相談役を務める世代間交流の場）
- 雪まつり（子供をターゲットに雪にちなんだ催しを実施）
- 川をきれいにする（河川環境の向上を目指したPR活動）
- おしゃべりサロン（管内の全世代を対象に参加型イベントを実施）

■意見交換の目的② ～地域活性化を目指した拠点の設定～

南外支所地域活性化推進室では、南外さいかい市・南外ふるさと館・南外民俗資料交流館の3施設が並ぶエリアを拠点と位置づけるとともに、ワークショップで提案された取り組み案も関連づけながら、3施設を利活用して地域活性化につなげる試みを進めたいと考えている。

■拠点設定の理由

- ① 3施設それぞれが南外の住民生活や伝統文化に根差し、地域の特徴を示す施設であり、この3施設が1カ所に集約されているから。

②いずれも天候に左右されない屋内施設であり、1年間を通して地域内外から一定の集客が見込めるから。

③ワークショップで委員の皆さんから提案された南外地域のキャッチフレーズを反映できるから。

○自立してコンパクトな南外地域

○子供からお年寄りまで元気で安心な南外地域

○自然豊かで人が集える南外地域

○会長

ありがとうございました。今日は結論を見出すということはないで、各委員の皆様から今現在思っている意見を出していただければと思います。この3施設が1つの場所に集約されていて、とてもまとまりのある状況を形成しているということで取り組みやすいのではないかというお話でした。地域の活性化を維持するために核となる施設としてこの地域にありますのでそれをうまく利用したいという考えのようですがどなたか意見のある方はいらっしゃいませんか。

○高見正志委員

場所的にはいいと思います。徐々に進めていくということですよ。

○高橋恵子委員

3施設を拠点にするというのは、南外では一番ここがそろっているのいいと思います。ですが、色々なイベントをするにあたって、まずルーツ探訪というのは今コロナ渦でもあるし、旅行というのは県外から来て宿泊することもありますので少し大変そうです。雪まつりは、年1回の開催になるだろうし川をきれいにするのも難しそうなので、おしゃべりサロンが一番実施しやすいとは思いますが、さいかい市の広告で高齢者を対象としたおしゃべりサロンのようなものを実施しているようでした。この取り組みを全世帯を対象にし、例えばですが参加費100円でお茶を飲んでゆっくりと色々なお話をしながら、トランプ大会を開催するなど、そういうものでしたら実施しやすいと思います。

○相馬静華委員

場所的には皆さんがおっしゃる通り良いとは思いますが、例えば、運営のボランティアをするときは別の場所に移動することもあると思うのですが拠点としてでしたら現段階では一番良いと思います。

○佐藤喜八郎委員

拠点というのはどのような意味なのでしょう。この場所があるからという意味ではないと思うのですが詳しく教えていただきたいです。

○地域活性化推進室主幹

拠点の捉え方ですが、現時点では非常にご説明するのが難しい部分もあります。拠点を設定するという話は昨日、市長協議がありましてその中で来年度以降は各地域で拠点を設定してここで地域活性化策を展開していこうという流れにはなりました。拠点に関しては道の駅があるような地域でしたらそこを拠点にすれば良いという話もあり、そうなった場合、道の駅というのは住民向けというよりは、どちらかといえば観光客向けの性格が強かったりして、拠点のイメージや捉え方がまだ定まっていないところがあります。南外の地域活性化推進室としては、観光客を意識したものというよりは、住民が集うような場所を拠点にして南外に住んでいる人たちが集まって楽しめるようなイメージで担当者同士で考えているところでした。それが、全市で共通した拠点の考え方になるかどうかはまだ何とも言えない状況にあります。

○会長

夏祭りなどのイベントを開催しているこの場所が、今現在で言うところの拠点の気もしますが、そういった意見も当然あるかと思えますし、イベントを実施するとなるとふれあいパークの前といった意見や檜岡地区の人の送り迎えなどが大変だなという意見もあると思います。

○佐藤正行委員

今、決まったばかりというお話でしたけれども、地域ごとというのは旧8市町村がそれぞれ拠点を作っているという話だと思うのですが、他の地区というのはまだまだ全然決まっていないということなのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

大雑把に決まっているところもあります。どこまでお話ししてよろしいのか分かりませんが、大曲であれば花火アムを拠点にするようです。

○佐藤正行委員

では、やはり建物を中心にするということなのではないでしょうか。佐藤委員からもお話があった通り、求められるところによって拠点というのは全然違ってくると思います。今、会長さんがおっしゃったように私のイメージとしては山村広場や体育館のある広い一角を使ってなにかできるのではないかという思いもあったのですが、やはり建物が1つあってそこで何かをやるのならその3施設があるところが良いでしょうし、最終地点に求めるところで違ってくると思います。

○会長

まだ結論を導くというよりも、次回も皆さんの意見を伺って徐々に拠点をどこにしているといいか絞っていく作業になると思いますので、今回は今現在、皆さんが思っている

ことを聞かせていただければありがたいです。

○伊藤君夫委員

拠点の在り方の連絡体制のことで、こういうことをしますという発信と連絡を受ける事務系の部分をどこに置くのか、というのが1つとイベントを中心にして情報を発信して人を集めるということに関しては、さいかい市などがある場所が見た目としては南外地域だと人を集めやすいギリギリのラインではないかと思います。もしイベントを実施するとすれば、体育館などを使用したり、企画の仕方は色々あると思いますが、事務系の総務という部分がふるさと館では難しいと思います。拠点に行政からも人を配置して、地域づくりを推進するにあたっての事務系の管理をふるさと館ではたしてできるのだろうかと思います。

○会長

拠点となれば、張り付くスタッフなど受け付ける人がいてほしいということもあるでしょうし、電話もできればあってほしいということですね。

○伊藤君夫委員

地域づくりの在り方というのが、自由にしてくださいという完全開放型のものなのか、あるいはある程度企画していくものなのか、昔の村おこしではないですが、結局最後まで継承されていないので、ある程度企画して、人を集める、活動してもらうというようにしていかないと難しいと思います。

○会長

今のお話ですけども、地域活性化推進室では深く関わっていけそうなのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

来年からの3年間は、地域活性化推進室の主要業務が拠点利活用事業になる予定ですので、その3年間に関しては力を入れて取り組んでいくことになると思います。その先に関しては事業計画を作成してそれに則って進めていくことになるので、そういう部分も含めてまだまだこれから考えていかなければいけないと思います。

○会長

やはり拠点なので、暖簾に腕押し的なようでは困るだろうから、取り残されないように事務局から取り組んでいかないと拠点になりえなくなってしまうと思います。

○伊藤君夫委員

期間は3年ほどでしたでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

施設の改修を伴わない場合に関しましては、3年ほどの計画です。また、作成した原案の拠点というのが、さいかい市とふるさと館と民俗交流資料館の3施設を含むエリアとして考えているのですが、このままエリアとして拠点にするのか、施設1個を指定して、そこを中心として実施していくのか、まだ話が煮詰まっていないところがあります。

○伊藤君夫委員

どこで話を煮詰めるのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

地域活性化推進室で話を煮詰めていくことになると思います。

○伊藤君夫委員

さいかい市が徐々に認知されてきておりますが、もしかすると3年後にはさいかい市がなくなってしまうかもしれません。そうならないようにするために、今年なら今年の中で早急にできるものを実施してみるというのが1つと長期的な部分で、さらにさいかい市を発展させていくような方法をとるべきだと思います。

○伊藤伝悦委員

そもそもの意味がよく分からないのですが、3施設を拠点として、例えば5つの案の中の雪まつりを実施しようとしても冬になると駐車場からお湯が出て融雪してしまうのでできません。だとすれば、支所の駐車場を使ったり体育館を使ったりしてその3施設の拠点が主だけれども実際、実施する場所はここだという風にしても良いと思います。ですので、柔軟に姿を変えてできると思いますので拠点をその場所に置くこと自体がだめだということはないのですが、実施する事業によって使う場所を変えるのも1つの方法ではないかと思います。

○風口宏子委員

拠点というのは地域活性化推進室で、実行するのはさいかい市・ふるさと館・民俗資料交流館をメインとして、実施する内容によって流動的で良いと思います。拠点というのは、取りまとめをする場所というイメージがあるのでそこは地域活性化推進室が拠点となって場所を使い、他のところも活用していくのはどうか、と思いました。

○会長

拠点となれば核となる担当者のような人が欲しいということですね。さいかい市やふるさと館など係の人はいますけれども、協力していただけるような状況ではないと思うので、やはり地域活性化推進室に拠点になっていただきたいということでした。

○木村ふみ子委員

今のさいかい市の経営状況はどのようになっているのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

経営状況に関しては、移動販売が始まった12月以降は比較的上り調子でしたが、今年になってからは少し落ちてはいます。ですが、安定した収益はあるようです。さいかい市はボランティアスタッフの皆さんに、協力してもらって成り立っているのです。やはり人件費があまりかかっていないから経営できているのだと思います。また、さいかい市はもともとは外小友地区の買い物に不便している人たちを助けるためにできた施設なので、形態は商売ですが営利目的ではありません。

○木村ふみ子委員

拠点をそこに置いてしまえば、何かのイベントを実施するにしても、今皆さんがおっしゃったようにイベントに合ったような場所でやらないといけないと思います。南外にたくさん場所があるので、冬であれば3施設がある場所を利用してもいいのですが、春になれば南外でも色々なところでイベントがあるのでそのような場所を使っていけたらと思います。

○今野徹委員

拠点の意味がやはり難しいです。皆さんのお話を聞いて、この3施設を拠点にするとなると観光案内の発信や南外の情報の発信をするというイメージしかなく、ここの拠点を使得って何かを実施するというイメージが湧いてこないのですが、この3施設をメインで使得って何を実施できるかを考えますと夏場限定となってしまいますが、熊の出没情報を教えたり日中にバーベキューをするということではできると思います。ですが、この5つの案を実施するとなれば、この3施設を中心にするというのはイメージできないです。

○佐々木久委員

私は、その3施設をちょくちょく利用させてもらっています。拠点については色々な考え方がありますが、もしできましたら委員の方にも1、2回利用していただいてから考えていった方が良くはないかと思いました。私としましては拠点として、なるほどという考えもあります。さいかい市の商品の値段はそこまで高くないですし、ボランティアの皆さんは、報酬はゼロというわけではないですが少ない金額で地域のために頑張っています。今日案件が出たばかりですので、委員の方にも利用してもらってから考えても良いのではと思います。

○会長

今、一通り皆さんから意見を出していただきましたが、他にお話がある方がいましたら

伺いたいと思います。

○佐藤喜八郎委員

この計画を、来年度の予算に向けて今年の10月まで決定しなければいけないということはないですか。

○地域活性化推進室主幹

ないです。

○佐藤喜八郎委員

今年いっぱいかけて計画を練り、令和4年度から実施するということでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

今年やるべきことは、拠点をどこにするかという設定の部分です。大前提の拠点の定義というのを曖昧なまま皆さんにご意見を伺ったというのもあり、よく分らないまま話し合いが進んでしまいました。ですので、今皆さんからいただいた意見を受けて整理した上で、次回の協議会の中でこの続きのような意見交換ができればいいと思いますので、説明が不足してしまった部分もあったかと思いますが、ご容赦いただけたらと思います。

○会長

意見として皆さんから出ませんでした。さいかい市の事業というのは外小友地区対象の事業ですので、檜岡地区の人はどうなのかというような疑問が出てもいいかと思います。檜岡地区の人がここを利用する場合は、送り迎えなど自力で行けない方のためにはどういったアイデアがあるのか、という意見もあるかと思います。

○佐藤喜八郎委員

支所長を主体にして、支所全体で特に若い人の意見を取り入れながら、企画のチームを作ったほうがいいのではないかと思います。

○佐藤支所長（以下「支所長」と表記）

昨日の市長との協議で、支所の職員の垣根を越えたプロジェクトチームのようなものを作ってもいいというお話は聞いております。その選任にあたっては、支所長の権限で決めてもいいというお話もいただいておりますので、その点も含めて支所全体で考えてみたいと思います。

○会長

今回で話し合いが終わりではないので、帰ってからでも皆さんも色々な考えをまとめていただければと思います。継続して協議し、良い方向に向かっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長

では、3) その他に入ります。始めに、前回の地域協議会で挙げられました要望につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

- ・ 檜岡城址案内看板への QR コード入りステッカーの貼り付けについて

【事業内容】

令和3年度第1回南外地域協議会で報告した地域粋予算事業「檜岡城址案内表示再図案化及び看板移設張替事業」に関して、話し合いの中で委員から寄せられた意見を受けて、QR コード入りのステッカーを作成し更新した看板に張り付けた。

○会長

何か質問等がありますでしょうか。

○高橋恵子委員

檜岡城址の案内ボランティア活動の予約はどこでするのででしょうか。

○地域活性化推進室主幹

準備はしていると思いますが、受付などの段取りや仕組みが整っていないのではないかと思います。後で事務局へ確認してみます。

○会長

他に委員の皆さんから質問や意見、要望がありましたらお願いいたします。

【意見聴取】

○会長

以上で本日の議題はすべて終了いたしました。次回の会議は、9月下旬を予定しております。詳細は後日事務局を通じてお知らせいたします。

これをもちまして、令和3年度第2回南外地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

(19時30分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 君夫

今野 徹
